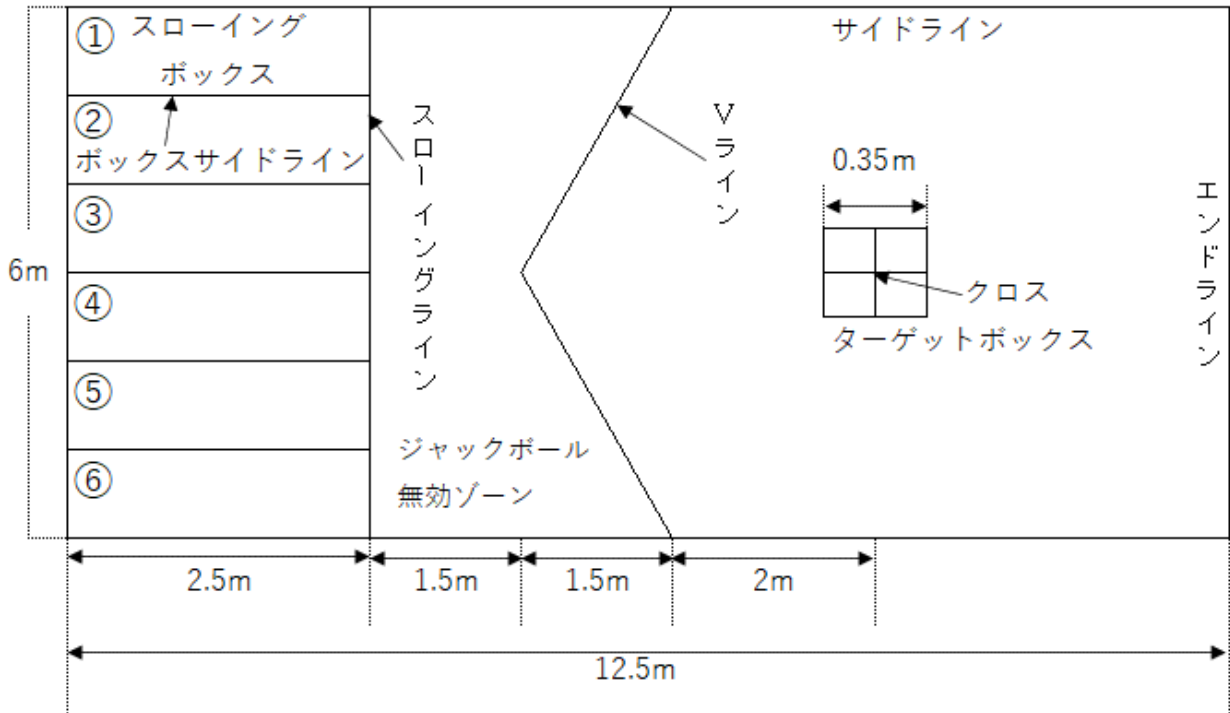


ボッチャ競技の手順

1 コート

- (1) コートの大きさは12.5m×6mである。
- (2) 使用するスローイングボックスは、赤ボールを使用するチームが①③⑤、青ボールを使用するチームが②④⑥とする。



2 競技手順

競技の手順は以下のとおり。

- (1) 投球順序（使用するボールの色）決定後、先攻は赤色のボール、後攻は青色のボールを使用する。
- (2) 競技を始める前に、6球のボールと1球のジャックボール（白色のボール）を2分以内で投球練習することができる。
- (3) 赤チームの選手は、審判が「ジャックプリーズ」というコールをした後に、ジャックボールを投球する。この際、コートを区切るラインに触れたり越えたり、Vラインに触れた位置で停止したり、越えなかったりした場合は、投球権が後攻のチームに移る。
- (4) ジャックボールがコート内に投球できた場合、ジャックボールを投球した選手がそのままボールの第1球を投球する。この時、第1球がコートを区切るラインに触れたり越えてしまったりした場合は、ジャックボールを投げたチームが、ボールをコート内に投球することができるまで投球を続ける。
- (5) ジャックボールを投げたチームがボールの第1球目を投球できたら、相手チームの選手が第1球目を投げる。投げる方法は（3）と同様に行う。
- (6) 両チームのボールが投球されたら、ジャックボールに対してより遠い位置に配置されたボールを使用しているチームの選手が投球する。
ジャックボールに対しての遠近の配置が入れ替わったとき、投球するチームも入れ替わる。これは、投球すべき手持ちのボールが全て投げ終わるまで行われる。

(7) 両チームの投球すべき手持ちのボールがすべて投げ終わったとき、審判は投球の終了を宣言し、エンドの終了となる。これを4エンド繰り返す。

3 ファイナルショット制度

- (1) 4エンド終了時に同点だった場合は、コート中央のクロスにジャックボールを配置し1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球したチームを勝者とする。
- (2) 投球順序は、タイブレイクエンド開始前にジャンケンで決められ、個々のチームから1人投球する人を決定して投球する。

4 順位の決定

- (1) 各コート内の順位は次の順で決定する。
 - ①勝ち試合数が多いチーム
 - ②勝ち試合数が同じ場合は、得失点差の大きいチーム
 - ③ ①②で決まらない場合は総得点の多いチーム
- (2) 上記①～③で決定しない場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で決定する。

5 違反行為

- (1) ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や補装具が接地した状態で投球する。
- (2) 審判の指示がある前に投球する。または指示がない選手が投球する。
- (3) ランプを使用する選手のアシスタントが、試合中にコートを見たり、競技に介入したりする所作を審判が認めたとき。